

研究主題	自らの考えをもち、互いの立場を認め、共に伸びていく子どもの育成 －互いの思いや願いを生かしていく話し合い活動を通して－
------	--

1 議題 「なかよしパワーアップさくせんを計画しよう」

2 議題について

(1) 議題設定の理由

1学期にいろいろな友達となかよく給食を食べたいという提案があり、毎週木曜日をハッピー給食会とし、くじ引きなどでグループを決めて食べてきた。初めはグループが決まっても誰の隣りになるかでもめたが、給食が始まると仲良く食べることができた。木曜日の給食を楽しみにしている児童が多く、話し合いで決めた期間が終了したときには、もっとやりたいという声があがっていた。

休み時間に児童が遊んでいる様子を見ると、同じ遊びに興味のある2・3人のグループのときは、約束を守って仲良く遊ぶことができる。しかし、人数が増えると約束が全員に伝わらないのか、約束を破る児童が出てきてけんかが起きてしまうことがある。みんなで遊ぶ楽しさを体験させることで、誰とでも仲良く遊ぶことができるようになれば、よりよい学級づくりの大きなきっかけになると考えた。

道徳の時間には、内容項目2の(3)で、うさぎが穴に落ちたたぬきさんを、さるさんの仲間と一緒に救い出すという話で友達の大切さを感じさせた。

そこで、学級のみんなが仲良くなれるような遊びを考えさせることで、よりよい集団生活を望む心の育成が図れる適切な議題であると考え、設定した。自分の意見をしっかりと話し合いに臨むことができるよう支援していきたい。

(2) 児童の実態

アンケート調査の結果 (平成21年9月28日調査 児童数32人)

① 休み時間は楽しいですか。 楽しい 31人 ふうふう 1人 つまらない 0人
② 楽しいと思うのは、どんなときですか。 友達と遊んでいるとき 18人 すきな遊びをしているとき 7人 なかよく遊べたとき 3人 たくさん遊んだとき 3人 その他(たくさんの友達と遊んだとき 1人)
③ つまらないと思うのは、どんなときですか。 1人でいるとき 20人 けんかになったとき 5人 自分のすきな遊びで遊べないとき 4人 遊ぶことが見つからないとき 3人
④ 休み時間はどうしたら楽しくなりますか。 みんなと遊ぶ 19人 すきな人と遊ぶ 10人 すきなことをして遊ぶ 3人
⑤ みんなで楽しく遊ぶには、どんな遊びがありますか。 おにごっこ 8人 ドッジボール 6人 虫とり 4人 ふやしおに 3人 かくれおに 2人 こおりおに 2人 ない 2人 その他(土遊び かくれおに 一輪車 なわとび てつぼう 各1人)

休み時間を楽しむためには、すきな人とすきな遊びで遊ぶことより、みんなと遊びたいと考えている児童が多い。また、すきな遊びとして、11種類の遊びをあげている。特に、おにごっこが多く、4種類のおにごっこがあがっている。そのため、何で遊ぶかについて話し合うと、自分のすきな遊びの名前の出し合いになってしまうことが予想される。そこで、みんなが楽しく遊べるものとして、その遊びのよさと問題点について考えさせていく必要がある。今回は、4種類まで選択させることで折り合いの仕方を学ばせたい。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	計画委員会の関心・意欲・態度
みんなで仲良く遊ぶことについて自分の考えをもって話し合いに参加している。	みんなで遊ぶことに対する一人一人の願いや思いの違いを理解し、どの遊びがよいのか考えている。	発表の仕方や手順に従って、自分の考えを発表することができる。	話し合いの進め方や友達の考えのよさを理解している。	話し合いが計画的に進むように、教師と共に協力して準備をし、話し合いを進めようとしている。

4 活動計画

	時間	児童の活動(☆全員・★計画委員会)	指導上の留意点
話し合い	10/2 昼休み	★議題案を整理し、議題を選定する。	・提案理由や児童の実態を考えて議題を選ぶように助言する。
	10/4 朝の活動	☆議題を決定する。 ★話し合いの柱を決める。	・学級全員で話し合うことにより、一人一人の意識を高める。

いの準備	昼休み		・教師と共に一番大切な話合いの柱を決めるようにする。
	10/23 朝の活動	★話合いの進め方と役割を確認する。	・話合いの順序を確認し、時間配分について助言する。
話合い	10/30 学級活動 (本時)	☆話合い活動をする。 「なかよしパワーアップさくせんを計画しよう」	本時の活動に記述
実践準備	11/2 昼休み	★計画委員会を開く。 話合いの結果をカードに書く。 なかよしパワーアップさくせんの内容やルールについて知る。	・遊びのルールに関する掲示物を作ることで、いつ、何で遊ぶのかについて分かるようにする。
実践	11/10～ 業間の時間	☆休み時間に仲良く遊ぶ。	・みんなが楽しく遊べるように一緒に遊びながら、見守る。
振り返り	11/28 学級活動	☆1ヶ月の活動を振り返り、今後の学級作りに生かす。	・問題点やよかった点について振り返ることで、今後の話合い活動に生かせるようにする。

5 本時の活動

(1) ねらい

学級の友達と仲良く遊ぶことについて、自分の考えを意欲的に発表したり、友だちの考えを聞いたりすることができる。

(2) 展開

議題	なかよしパワーアップさくせんを計画しよう
めあて	楽しい休み時間になるために、みんなで仲良く遊ぶことができる遊びを考えよう。
活動の流れ・児童の活動	
指導上の留意点 (評 評価)	
1 始めのことば	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く時は、姿勢を正して、話し手を見て最後まで聞くよう指導する。 ・歌を元気よく歌うことで、みんなで心を合わせて話し合う雰囲気をつくる。 ・計画委員会の児童には、仕事の内容を十分に指導しておく。また、困ったときには、お互い声をかけるなど協力して活動するよう指示しておく。 ・提案理由の説明では、みんなで遊ぶと少ない人数で遊ぶよりももっと楽しくなるという提案者の思いが伝わるようにする。 ・11月の木曜日の昼休みの時間にみんなで遊ぶことなど、決まっていることをノート書記が発表できるようにする。 ・みんなで仲良く遊ぶことができる遊びとその理由をカードに記入することで、自信をもって発表できるようにする。 ・話合いカードに書かれている意見を前もって紙に書いておくことで、黒板係が余裕をもって活動できるようにする。 ・司会によりそい、まとめたり深めたりする場面では、積極的に助言していく。 ・司会者は、副司会者のチェックした名簿を見ながらできるだけ多くの児童が発表ができるようにする。 ・意見が活発に出ない場合は、話合いカードに違う考えを書いている児童を司会者に教え、指名できるようにする。 ・話合いの内容がめあてからそれてしまった場合は、教師が軌道修正をする。 ・少数意見であっても、その遊びのよさについて考えることで、みんなが楽しむことができる遊びかどうか検討するようにする。 ・決まったことを発表することで、今後の活動に見通しがもてるようにする。
2 歌	
3 役割の紹介	
4 議題の確認	
5 提案理由の説明	
6 めあての確認	
7 話合い ○ みんなで仲良く遊べる遊びは何か。 <ul style="list-style-type: none"> ・おにごっこ ・ドッジボール ・虫とり ・なわとび 	
8 決まったことの発表	
9 振り返り	
10 先生の話	
11 終わりのことば	

評 みんなと仲良く遊べる遊ぶについて考え、話合いに進んで参加している。
(話合いの様子、話合いカード)
・計画委員会の児童を労い、活動のよさをみんなに知らせ、自信をもって活動できるようにする。
・めあてを意識した発言や計画委員会の事前の活動を称賛する。
・話し合ったことが、生かされるようにするにはみんなの協力が必要であることを告げ、活動への意欲付けを図る。

第2学年

だい12回 ハッピー★ラッキータイム 10月30日(金)

きだい	なかよしパワーアップさくせんを計画しよう		
きだいをだしたわけ	みんなでなかよくあそぶにしかができるあそびで休みの時間をむせたらたのしいかなと思った。		してやいあん Iさん
やくわり	し か い Tさん Hさん	こ ぼ ん Nさん Hさん	ノ ト Tさん Nさん
めあて	たのしい休みの時間になるためにみんなでなかよくあそぶことかたてるあそびを考えよう。		
きまってること	11月の木曜日のひる休におこなう。 あそび時間は15分間。		
はなしあい のじゆんじよ	気をつけること	みんなの考え	
1 はじめのことば 2 うた 3 やくわりのしょうかい 4 きだいのかくにん 5 きだいをだしたわけ 6 めあてのかくにん 7 はなしあい (1) みんなでなかよくあそぶあそびを考えよう。 [35分]	男の子も女の子もなかよくたのしくあそぶあそびにする。みんながきょうかできるあそびにする。 ついにきめずみんながよいと思うあそびも4つまできめる。	○ドッジボール ○けいぞろ ○ロウソクおに ○ロンドンばし ○ふやしおに ○こおりおに ○かくれおに ○ハンカチおとし ○フルーシバスケッ ○バナナおに	
8 きまったことのはっぴよう 9 ふりかえり 10 先生のはなし 11 おわりのことば			